

8月の目標は「夏を楽しむ」。

毎年、各職員がスイカ割り、かき氷、川遊び、そうめん流しのチームに分かれて行事を企画・実行します。

今回はコロナ騒動に加え8月は猛暑日が続き、例年よりは控えめでしたが、それでも

1日 みかん大福づくり

3日 外でかき氷

4, 7日 スイカ割り

19日 そうめん流し

21日 ドーナツ作り

25日 三津にかき氷を食べに行く

30日 川を見にドライブ

32日 杖の淵公園

と行事を楽しみました。

夏は暑いもの。熱中症対策さえすれば、高齢者であっても十分に夏を満喫できるのです。

逆に、高齢者だからと虚弱者扱いをして外に出さずエアコンの効いた室内に閉じ込めておくことは季節もわからなくしてしまう「逆差別」だと思います。

「老齡期こそ最大のバカンス」。

その意味をしっかりと理解して、楽しみを作ることに専念しなければプロの介護職だと言えないのではないのでしょうか。

安全だけを守り、何もさせないことが思いやりだと勘違いしている介護職員がまだまだ多いような気がします。

皆さんと一緒に夏を楽しむこと。今年の夏は一度限り、悔いのないように生きたいものです。

